

「衝撃の見出しに何を感じるか?!」

日本人最大の83万人減

推23年10計月
総人口13年連続減

2024. 4. 13 南日本新聞より

2023年10月1日時点の人口推計の結果、先の見出しにあるように83万人の人口減。将来を担う0～14歳は32万9千人減、主要な働き手となる15歳～64歳（労働人口）は25万6千人減という記事が掲載されていました。

ニュースなどで人口減の話題は溢れているため、漫然と聞き流しそうですが、この83万人という数字は、鹿児島県の人口154.9万人ですので、たった2年で鹿児島県から誰もいなくなるくらいの人口減が、すでに日本全体では起きているということです。

人口減ということの弊害は、みなさんも想像できると思います。数年前のコロナ禍、どうだったでしょうか？外出ができない、買い物も自粛、飲食店を中心に、非常に苦しい時期を過ごしたかと思います。ここ数年の人口減少率は0.5%くらいですが、それが十年続くとどうでしょう。0.5×10年＝5%購買力が低下する⇒ものが売れないから給料を減らす⇒より生活が苦しい⇒様々なものを自粛する…。実際、コロナ禍ではこのようなことが起きましたね。しかし、それが日常の現実として将来待ち受けているかもしれないのです。

そこで、現在、日本政府は「働き方改革」を提唱しています。なぜ改革が必要かという点、見出しのとおり、日本は人口減だからです。何十万人という労働人口減という状況下では、それを補うだけの新たなシステムやIoT技術、生成AIを活用した新たなイノベーションを導入し、生産性を向上しなければ、生活水準を維持できない状況にきているのです。

今年もすでに多くの企業の方々が進路室に求人のおいさつに来られています。上記の環境下ですので、今年も多くの人が見込まれます。

さて生徒の皆さん、これらの状況をどう思いますか？会社名だけではなく、学校名だけではなく、将来はどうしたい、どう自分を育てたいという明確なビジョンをもって進路選択をしなければなりません。そのもう一つの現実が、下記のテレビCMで放送されています。

「49%」

最近右のCMを知りませんか？なんと、今ある仕事の49%をAIやロボットが担えるということです。また将来は、今は全く想像もしない仕事が増えるということも考えられます。頭も柔らかく、エネルギーの塊であるみなさんにとって、これらの新時代の新しい技術やシステムは近い将来のことであり、それをどのように手にし、自分で扱えるようになるか、それができたら新しい時代をリードし、世の中を動かすことができる人物になれると、捉えることができます。

進路選択においては、人口減、現在の仕事の半減という現実の中、将来性をどう確保するか“超真剣に”考える必要があります。

公益社団法人 AC ジャパン CMより

白紙の未来を、
子どもたちは歩む。

近い将来、今ある仕事の約49%を
AIやロボットが担えるようになる、という予測がある。

子どもたちは、まだ見ぬ仕事や働き方が生まれていく、
白紙の未来へと進む。

新しい価値観に会いながら、
自分らしい道を一歩ずつ切り拓いていく。

子どもたちと向き合い、共に歩んでいく社会へ。

★進学するのに必要な知識として

本校の進学希望者は例年 30%超の人数で推移しています。さて皆さん、高校を卒業して、専門学校や短大、大学に進学した場合、どれくらいの費用がかかるか知っていますか？またそれぞれ、何を学ぶか知っていますか？

	大学	短大	専門学校
教育内容・カリキュラム	幅広い一般教養から専門領域までを学問として体系的に学べる	一般教養から専門領域までを体系的に学べるが、大学と比べると履修できる科目数は少ない	職業に直結する知識・技術を学ぶことができ、特に実習が充実している
卒業すると得られるもの	学士（学位）	短期大学士（学位）	専門士（称号）
修業年限	4年制が一般的だが、医学部・薬学部など6年制もある	2年制が一般的だが、3年制もある	2年制が一般的だが、3年制・4年制もある
学校生活	クラブ・サークル活動が盛ん。図書館など設備も充実	大学と比べるとクラブ・サークル活動や設備の充実度は低い	大学と比べるとクラブ・サークル活動や設備の充実度は低い
学費	国立は約243万円 公立は約254万円 私立文系は約408万円 私立理系は約551万円	約202万円	約237万円
卒業後の進路	進路の業種・職種は多様で選択肢が広い	進路の業種・職種は多様だが、大学と比べると選択肢は限られる	その学校が専門とする分野・業界の就職に強い

（#高校生なう より抜粋）

左記に、それぞれの進学先の特徴を掲載します。本校の特徴として、部活動を主とした進学を希望する生徒もいます。その場合は、学費+生活費+部活動費も必要となります。大抵は推薦などで強化指定部への進学だと思しますので、アルバイトなどをしながらの大学生活は難しいかもしれません。

専門学校は、その学校で学んだことを活かして職業に直結することを学ぶ場合が多いです。そのためには専門学校在学中に多くの資格試験に取り組み、合格しなければなりません。

また県外の場合は、生活費はどれくらいかかるでしょうか？家賃、食費、光熱費、他多くの費用がかかります。それらを含めて保護者としっかりと話し合う場が大切です。

★ゴールデンウィークを活用した工場見学を！

本校では、タブレットを活用したり、自宅でもスマートフォンを活用して、様々なメディアにアクセスすることができます。最近では、企業も広報活動に積極的で、各社皆さんが興味を持てるように、各社の案内や工場の様子などを Youtube などで紹介している企業もあります。

そこで、このGWを活用して、積極的な工場見学をしてみてもどうでしょうか？自宅で、遠征先で、家庭で、保護者や友人と一緒にできるのもSNS活用の利点です。

右のQRコードから自動車製造ラインの様子を見られます。これをきっかけに、自分の興味関心がある企業・学校へアクセスしてみましょう。



「トヨタバーチャル工場見学」

「どうせ無理」を「だったらこうしてみたら？」に。

株式会社植松電機

代表取締役 植松努氏

ものづくりを学ぶ鹿工生！

是非この講演を聞いてみてください。自分の将来に影響を与える話・未来を創造する話を聞くことができます。大切な進路選択について、様々な観点・素晴らしい講話から、きっかけを掴んでいきましょう。



Hope invites | Tutomu Uematsu | TEDxSapporo



きっと、これからの人生を切り開くヒントとなります。自分の将来活かせる SNS の活用法を大切に。